

AFS 長野南信支部 2021年度活動計画(前半)

4月12日(月) 69期派遣(2022年出発)情報公開

世界各国へ190名の留学の情報をオンラインで公開しました。

5月1日(土) 天竜峡探訪

留学生と南信の名勝天竜峡を満喫します。

5月10日～ 69期派遣希望者エントリー開始

留学希望者は必ず自分のIDを作成してエントリーをしましょう。オンライン留学説明会を4～6月で開催中。

5月29日(土) 登山

長野南信支部恒例の北八ヶ岳登山です。

7月1日～15日 69期派遣選考試験 A日程

書類選考による受付期間です。

7月11日(日) 留学生送別会

場所未定 昨年11月に来日したフランス生とアルゼンチン生の2人の留学生のフェアウェルイベント。

7月30日/31日(金土) 留学生帰国

8月8日～23日 69期派遣選考試験 B日程

A日程で定員に満たない派遣先の応募ができます。

9月上旬 秋来日生支部到着

9月25/26日(土日)留学生との交流 高遠合宿

国立高遠青少年自然の家 支部の留学生と地元の中高生で1泊2日の行事です。アウトドアアクティビティーやゲームのタバなど。募集は8月末からになります。

※年度後半も楽しい行事を計画しています。

予定の変更もありますので、詳しくは支部のHPやFacebookなどを確認してください。



コロナ禍でも、 世界へ羽ばたく！

COVID-19 によるパンデミックは私たちの生活を根底から覆してしまいました。世界どころか、日本の中でさえも人と人が直接対面することが難しい世の中です。

AFS 長野南信支部は試行錯誤しながらも、感染予防対策を行い、半年間のブランクを経て昨年の11月に4名の留学生を迎えることができました。そして、コロナ禍でも世界へ羽ばたくことを夢見る日本の高校生たちも健在です。彼らがきっとよりよい未来を創造する、そう信じて私たちは世界中の若者を全力で応援していきます。

2020留学生日本滞在記 P.2

ウゴ・クルティル (フランス)	松本県ヶ丘高校1年
アレハンドロ・ビクトル・マヌエル・アグエロ・ディアズ (アルゼンチン)	飯田風越高校1年
スミトラ・タバ (ネパール)	飯田風越高校1年
ウランゴー・アルタンゲレル (モンゴル)	塩尻志学館高校2年

留学体験記 P.3

小牧 理瑛 (スペイン)	伊那北高校2年
嘉瀬 浩太郎 (パラグアイ)	諏訪二葉高校2年

ホストファミリー特別寄稿 P.4

人生を豊かに

佐々木 君子



やっと来られた、憧れの日本

2度のPCR検査、2週間の待機期間を経て、2020年の秋の深まつたころ、フランス、アルゼンチン、モンゴル、ネパールから4人の留学生を迎えるました。新型コロナウィルスの拡大により、延期、延期で留学期間は短くなってしまったけれど、最高の日々を過ごせたという留学生たちの言葉です。

こんにちは。
アツア架け橋プロジェクトにモンゴルが参加しているランゴです。
私は長野県松本市に住んでいます。日本に来てもう4ヶ月になりました
この4月は私に全然忘れない4ヶ月でした。私は日本に来て全然した
事がない物をやってとても楽しかった。例えばハンドミントンか
バレーボールとかスキーとかたくさん物をやってみました。

そしてホストファミリーはとても優しくてうちの家族みたいでした。
とてもうれしいです。学校でもたくさん友達に会って
仲良くなりました。わたしの日本の高校に習う夢が叶いました。

AFS JAPANとAFS MONGOLIA

とてもありがとうございました。
また2年後医学大学に留学する時に会いましょう。

Mycame grammar Syngony we
use un Sarvaa.



ランゴー

こんにちは!僕の名前はアレハンドロです。アルゼンチンから来ました。長野県飯田市に来て4ヶ月になりました。僕の友たちは電車で学校から帰りますが、時間に体が電車がないので、あわてて帰ることがあります。いつもすこぶる時間が限られていますが、走りと併ぶくありました。特に仲良くなれた友達と一緒に日本語も英語もたくさん話ができます。ほかの友だとも、アニメ、ゲーム、スポーツの話をなどして、楽しいです。

僕の家は、ホストファミリー、ホストスクール、そしてAFSにとてもがんしゃしています。

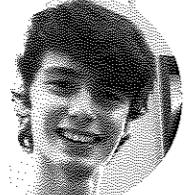
アレハンドロ



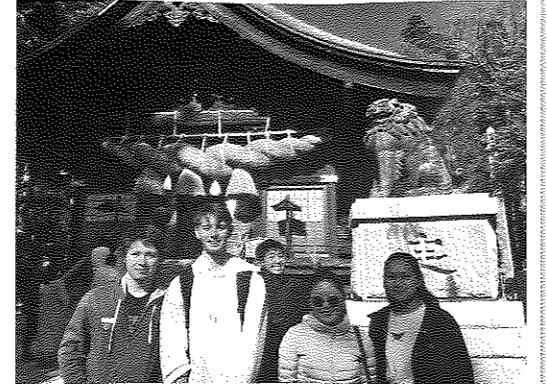
アレハンドロ

日本にきて4ヶ月たちました。
こういんやのこじし。
とても楽しいです。
日本人はやさしいし、ともだちとホストファミリ
にかんしゃしています。
日本にいるは本当にうれしいです。
私は日本語のべんきょをがんばります。

ウゴ、フランス



ウゴ



こんにちは。
私はスマトラです。ネパールから来ました。
私はじぶんがラッキーだとおもいます。

というのは、日本に来るところまできこ、とても多くの思い出を作ることができましたからです。

スキーをしたり、ものを作りました。
うれしかったです。ホストファミリーがとても喜びました

日本にどこもいられなくできることは、日本の食べ物です。私はネパールにかえたら、かぞくにそれを作ってあげたいです。日本でできたら友だちやたくさんの方の思い出を作りたいです。

日本でのせいがつかないなと感じます。
日本でのせいがつかないなと感じます。
日本でのせいがつかないなと感じます。

ありがとうございます。

- Sumi -



スマトラ



AFS 66期・67期 留学レポート



私は2019年9月から2020年3月までスペインへ派遣されました。予定より3,4ヶ月早い帰国となりましたが、スペインでの生活はとても濃いものでした。この留学では、楽しいこと嬉しいこともありましたが、私には辛いことが多かったです。行く前の私は自分に多少の自信があったのだと思います。すぐにホストファミリーと打ち解けられ、友達も多くできると思っていました。しかしそんな甘いものではなく、思っていたよりもコミュニケーションをとるのが難しく、何度も涙を流しました。その度に自分の甘さや自惚れを痛感し、とても情けなくなっていました。

L.P.さんに相談したり、他のボランティアさんと話し合ったりし、最終的にはホストチェンジすることになりました。「ホストファミリーになりたい」と言ってくれた友達がいて、その頃は自分に自信が殆ど無く、学校では自分が友達だと思っているのではないかと思っていたのでとても嬉しく、私の努力を見てくれていた人がいたのだと感じました。これらの辛い経験は今の私を作り、原動力となっています。

66期スペイン派遣 小牧理瑛

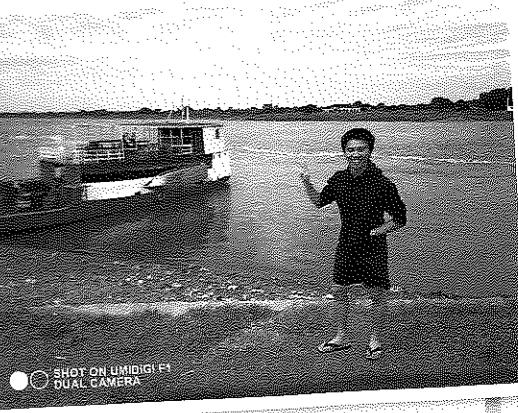
僕がパラグアイを選んだのは、AFSに載っていた紹介文がとても印象的だったことと、あとは日本人にはあまり知られていないマイナーな国だと思ったからです。時間がゆっくりすぎる国、なんとも神秘的で興味をそられたのです。未知の国で冒険してもっと成長したい、という思いを胸に僕の留学が始まりました。

2回の乗り換え、計40時間のフライトの後パラグアイの空港に着くと日本は冬だけど、そこは夏。頭がいたくなるような暑さと、何を言ってるのかわからないけど楽しそうな笑い声。どんな1年が待ち受けているのか、帰る頃は自分はどんなふうになっているのだろうと思うとワクワクしました。

2日間のオリエンテーションが終わると、いよいよホストファミリーとの生活が始まりました。日常生活を通して僕が強く感じたことは、ルールがゆるいことと日本にはない愛情表現です。夜ガンガン音楽を流して踊っても、誰も怒らないし、バスが1時間遅れてもイライラしているのは僕一人。夜に友達が集まってサッカー観戦もするし、仕事中でもテレレ(お茶をみんなで飲む時間)をしたり、学校の授業も平気でサボる(笑)。最低限のルールはあるべきだろうとは思いましたが、自由気ままにのんびりくらしていて、こういう生活も楽しそうでした。また、パラグアイ人はよくハグやキスします。そんな世界中でよくある文化じゃん、と思ったそこのあなた。パラグアイは格が違いますよ。女の子が男の子に後ろから抱きついでベターベタになったり、ほっぺたにキスしたり、びっくりしました。

コロナウィルスの蔓延で、けっきょくパラグアイで過ごせた期間は1ヶ月でした。しかし、僕がパラグアイで得ることができたもの、それは自信と度胸です。今の僕なら、どこの国でも生きていけるし、どこの国人でも仲良くなれる。こんな風に変わるのが留学の醍醐味じゃないのでしょうか。

67期パラグアイ派遣 嘉瀬 浩太郎



【長野南信支部からの派遣生】(2021年夏～2022年夏)

留学時期	氏名	派遣国	学校
68期夏出発(2021年～2022年)	飯森直人	イタリア	甲陵高校

【年間生・架け橋生受け入れ家庭】ホストファミリーとしてご協力ありがとうございました。
山本 茂様 牧内 裕幸様 佐々木君子様 唐木 孝様 横川 善史様
三浦健次郎様 松村 一成様(順不同)

【2020年度ホストスクール】ホストスクールとしてご協力ありがとうございました。

プログラム名	留学生名	出身国	ホストスクール
第3期アジアの架け橋プロジェクト生	ランゴー	モンゴル	塙尻志学館高校
AFS通常プログラム年間生(11月来日)	スマトラ	ネパール	飯田風越高校
AFS通常プログラム年間生(11月来日)	ウゴ	フランス	松本県ヶ丘高校
AFS通常プログラム年間生(11月来日)	アレハンドロ	アルゼンチン	飯田風越高校

第69期派遣生募集情報公開!

日本から2022年の夏(一部冬)に留学を希望する高校生の皆さんための応募案内がAFS日本協会のホームページ上で公開されています。オンラインによる留学説明会も開催中。詳細は以下のリンクへ。www.afs.or.jp/goabroad/year-programs/





ホストファミリー 特別寄稿

人生を豊かに ~150人の外国人を受け入れて40年~

長野南信支部で長年ホストファミリーをされている佐々木さん。
この40年でホストをした海外の方は今回のネパールのスマートラで
150人目となりました。その思いを今回寄稿していただきました。

我が家には、今ネパールからの留学生スマートラ18歳が
ホームステイをしながら飯田風越高校に通っています。

私には、二人の息子がいます。二人とも海外留学を経験しました。息子達が、それぞれ外国でホストファミリーに大変お世話になったこともあります。私も少しでも外国の方々のお役に立てばと、ホストファミリーを受けることを始めました。

ホストファミリーを始めてから今年でおよそ40年が経ち、我が家にステイした外国人は今いるスマートラで150人を数えます。最初は、100人は受け入れをしたいという夢をもって頑張っていましたが、いつの間にかその夢は叶い、150人を数えるまでになっていました。現在76歳、主人は7年前に他界し、今は子供たちも家を離れそれに家庭をもって生活しています。主人がいた頃は違った国の外国人の方が4人一緒にステイし、国際色豊かで、賑やかな時期もありました。

受け入れた国はグリーンランド（デンマーク）、アメリカ、ニュージーランド、タイ、フランス、カナダ、インド、韓国、中国、フィリピン、オーストラリア、ドイツ、スリランカ、ノルウェー、ガーナ、イギリス、モンゴル等々。色々なステイプログラムの人たち、高校生、大学生、成人、と年齢も様々でした。受け入れ期間は1日から2~3日、1週間、数週間、数ヶ月と様々ですが、一番長くステイした留学生はAFSでの1年間の受け入れです。3月末に来て、4月から学校に通い、2月に帰国するというプログ

ラムでした。1年間、生徒を預かると愛情もわき、我が子のように愛おしくなります。留学生の帰国後、その生徒の国を主人と訪ね、本国のご家族と交流したことも何回かあります。

AFSの1年間の受け入れを度々していると、補助はどれくらいあるのか聞かれることがあります。ほとんどないことを伝えると「それじゃ何のために？」と聞かれます。私は「好きだから」と答えることに留めますが、お金では買えない尊い経験ができる喜びを実感しているからこそ、今日まで続けられたと確信しています。

我が家を訪ってくれた人たちの国がテレビに映されると、今頃、彼らは何しているだろう？元気でいるだろうか、と思いをよせています。

ホストファミリーは、自分の知らない国文化や生活の様子を（その国に）行かなくても知ることができ、自分の視野を広げるだけでなく、自分の心を豊かにしてくれる尊い経験だと思います。我が家に来てくれた人たちが、帰国後、何回も彼氏を連れて来たり、友だちを連れて来たりして、里帰りをしてくれることがとても嬉しいです。外国のあちこちに友人がいると思うと心豊かで幸せを感じます。

佐々木 君子

※佐々木さん寄稿文全文は以下のリンクでご覧になれます。

<https://www.afs.or.jp/story-hostfamily-21/>

One AFS 緊急募金 へご協力をお願いいたします

コロナ禍で国同士の往来が困難な時代となり、各種留学も思い通りにできなくなっています。AFSも困難な局面に対峙しています。これからもAFSが若者の夢を叶え、関わる人全てが多文化共生について学び合う機会を継続できるように、皆様のお力を寄せください。

AFS日本協会はいま、あらゆる経費削減策を講じています。しかし、継続してボランティアを育

成し、各種プログラムを運営し、AFSのネットワーク、知識、経験を次世代に受け継ぐためには、1億円のご支援が必要となっています。どうか継続してAFSへご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。いただいたご寄付は、衛生用品の購入や受入生が到着後2週間待機する際の施設宿泊費、職員のPCR検査等、生徒を安全に受け入れるために必要な対策にも役立っています。みなさまからのあたたかいお心にあらためて感謝申しあげます。

※寄付について詳しいことは
One AFS 緊急募金でクリック

One AFS緊急募金

検索



ホストファミリー随时募集中!!

世界各国から留学に来る高校生を家族の一員として受け入れてみませんか。多様な文化・価値観を持つ若者との生活を通じて多くのことを発見し、共に感動し、国境を越えた貴重な体験が待っています。それはお互い一生忘れることのない、かけがえのない経験となるでしょう。必ずしも英語が話せる必要はありません。日本家屋の設えでもそれが生徒にとって異文化体験となります。1週間~11ヶ月まで留学プログラムもさまざまです。ご興味のある方は下記連絡先までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉 公益財団法人AFS日本協会 <http://www.afs.or.jp>

長野南信支部 e-mail: info-nanshin@afs.or.jp 支部長 長坂菜摘子

